



【学ぶ意義とは】…夏季休業中の図書室で出来事の紹介

夏季休業中、図書室で教科書と問題集を使い勉強している生徒がいました。

その生徒は物理の運動法則についての問題を解いていました。その生徒から、次のような質問を受けました。接している2つの物体の一方にある大きさの力を加えるが、他方の物体に加わる力はそれよりも小さくなるのはなぜかとの質問を受けました。私は、その生徒に二つの物体間ではたらく、力のつりあいや作用・反作用、運動の法則などの説明をしていきました。生徒の疑問は解消されましたが、ただ単に問題を機械的に解くのではなく、「何故!？」との疑問を持ちながら他者との対話やコミュニケーションなどを通して、その原理や法則の気づきをもつことの必要性を改めて感じました。その生徒は、「日常生活で起こる現象を原理・法則などで科学的に説明できる物理は面白い」と笑顔で話をしてくれました。学びの意義について、改めて、この生徒から気づかされた出来事でした。

【校長講話】8/18(金)夏季休業明け講話…視点を変える

夏休み明けの全校集会で校長講話を行いました。

ある病室に運ばれた患者と窓際にいる患者の話です（詳細省略）。その二人に関して私がどのように考えるかについての話はしませんでした。生徒一人一人のがどのように感じ、考えるか、各自で考えて欲しいという話をしました。

その話の後、視点を変えて考えてみることや、一見、ネガティブな状況にあっても、前向きに物事を捉えてみる必要があること。物理学者 スティーブン・ホーキングスは難病患者（故人）であるが、「われわれは無数にある銀河の一つの周辺に位置するごく平均的な小さな惑星に住んでいる。」あなたが抱えている悩みや問題は大きいものなのか。視点を変えて行動してみてほしい旨の話をしました。



【U25新人賞 絵画展示】

本校職員玄関の壁に、本校生徒(3年佐藤さん)の絵画が展示されました。



【生徒会、北方研、高文連 全道へ】

夏季休業中、生徒会は市教育委員との対話、北方領土根室研究会(北方研)は道内外での講演、書道部や吹奏楽部は地区大会を経て、全道出場権獲得。生徒達の活躍が素晴らしい！

【ひまわりの種プロジェクト 進捗】

8月、天候にも恵まれ、多くの日差しもあり、成長している様子が伺えます。

